

未来響創

IEで拓くモノづくりとサービスの新たな価値

「からくり技術」による現場のものづくり力強化

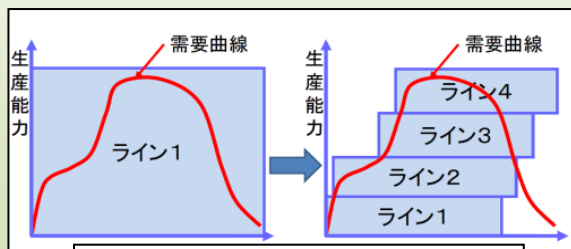
『IE視点での生産設備・改善ツール自前化工夫』

安価・小型・自前化が成功への第1歩

円安が続く新興国の労務費は急騰。働き手の高齢化や人手不足から、高度な新技術を駆使して自動化や無人化を狙った大規模な設備投資の動きがあります。しかし、安易な技術偏重の自動化は、かつて薄型テレビで経営危機を招いた家電業界の二の舞いの恐れがあります。省人や省力化を目指すも、安価で小型の設備や改善ツールを自前化して減価償却費の負担を減らすことが必要です。そのためには、話題のからくりの機構を知ること以上に、セル生産方式の思想を一つの基軸として改善の着眼点や工夫の原点がどこにあるかを学び、技術者の想像力や洞察力を鍛えることが手段となります。激しく変化する需要に、強く量的規模が小さくても利益が出せる生産ラインの在り方について事例を交えてお話し致します。

本セミナーでは、次のことを重点的に学ぶことができます。

- ・現場における作業改善を活発化する道具の発想
 - ・半自動化ライン設備の改善の着眼点
 - ・需要変化に強い小規模な能力の自動化ラインの着眼点
- ぜひこの機会に皆さまのご受講をお待ちしております。



小規模生産能力ラインの展開イメージ

日時／2024年1月22日(月) 10:00~17:00

会場／東京・平河町近辺の会議室

受講料／日本IE協会会員 39,600円

一般 52,800円

日本生産性本部 賛助会員 46,200円

(一名様につき 税込み・テキスト代込み)

※他地区IE協会の会員も会員価格になります。

講師

日本IE協会専任講師

(株)石川改善技術研究所

代表取締役

石川 雅道 氏



プログラム

- 『セル生産と共に発展した自前「からくり技術」』
 - ・雇用形態に関わらず進化したセル生産
 - ・セル生産を支えた設備の着眼点
 - ・装置型産業でセル生産に発展させる鍵
 - ・重要性を増す生産技術者の役割
 - ・「からくり技術」と呼ぶ背景
- 『現場を活発化する改善ツールの着眼点』
 - ・「もったいない」がモノづくりの原点
 - ・技術者にも必要なIEの視点
 - ・改善ツールに身近な物理の応用
 - ・動作のムダを廃除する着眼点
 - ・部品を一個ずつ取るための着眼点
 - ・改善現場に適する情報の自動化(参考)
- 『違いをつくるための着眼点』
 - ・安く小さい治具設備を実現する基本
 - ・付加価値を生む「機能」に着目
 - ・無付加価値にお金を掛けない
 - ・治具や設備を工夫する着眼点
 - ・ポカヨケのコツは「違い」を発見する
 - ・アイデアは日頃の“想像力”から
- 『知恵を集めて自前化生産ライン』
 - ・セル生産思想を工場/生産ラインに適用
 - ・100×1より10×10で
 - ・自前化する設備の基本思想
 - ・生産ライン/設備実現の着眼点と事例
 - ・小規模化で活路を開いた事例
- 『人材育成と活動の在り方』
 - ・啐啄(そつたく)の機に
 - ・自ら考えるエンジニアに
 - ・技術者教育のカリキュラム
 - ・全社挙げた活動展開に
- 『まとめ』
 - ・Q&A とアンケート



講師紹介

日本IE協会 専任講師

株式会社 石川改善技術研究所 代表取締役 石川 雅道 氏

1951年秋田県生まれ。東北大学工学部卒業。住友金属工業(株)を経て1977年ソニー(株)入社。生産技術は「IE的な手法」と「技術の革新」の両輪で進めるべきという持論を元に、デバイス・半導体の生産ラインの企画構想や設備治具の開発を行う一方、IEやトヨタ生産方式による製造現場の生産性向上・品質歩留向上を長年に渡って担当。工場での作業改善・品質向上や在庫削減指導を行いながら、「安価で小型の設備・治具で現場を更に進化させる」をスローガンに「からくり技術」として、国内外の工場における生産技術や製造技術の人材育成と指導を行い、大きな成果を上げた。2009年に退社して起業し、自ら体験したことを元に前述に関連するIE協会の講師やシニア人材アドバイザーとして中小企業のモノづくり支援等で現在に至る。



ホームページからお申込みください
www.j-ie.com/seminar

以下ご記入の上、このままFAXにて
お申込みいただくこともできます
FAX 03-3511-4069

参加者および申込責任者が上記の「個人情報の取り扱いについて」に同意した上で申し込みます。

『IE視点での生産設備・改善ツール自前化工夫』 DK21 2024年1月22日

■ 貴社名		■ 所在地 〒	
	氏名	所属・役職	TEL/FAX
申込責任者	フリガナ E-mail		TEL FAX
参加者 1	フリガナ E-mail		TEL 当日の連絡先
参加者 2	フリガナ E-mail		TEL 当日の連絡先
合計【 】名		参加費【 】円	

■ キャンセル規定に関して ■

申込受付け後、おおよそ開催日の10日前になりましたら、参加証(集合案内)、請求書を郵送いたします。正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方にご出席をお願いします。代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けます。

【(注)※キャンセルは、必ずE-mail、または、FAXにて、日本IE協会までご連絡下さい。】

- ・開催日の7日前～前々日(開催日初日を含まず起算): 参加費の50%
- ・開催日の前日および当日: 参加費の全額(料金のご返金はできません)

「個人情報保護の取り扱いについて」をご一読いただき、同意の上、ご記入ください。ご同意いただけましたら同意署名に印画をお付けください。

個人情報の取り扱いについて同意する。

【個人情報の取り扱いについて】 ※日本IE協会と(公財)日本生産性本部は、2011年4月に事業統合しました。

(公財)日本生産性本部・日本IE協会では、皆様の個人情報を以下のように取り扱います。下記の内容をご確認いただき、同意の上、日本IE協会のプログラムにお申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後でも個別に不同意の表明をすることが可能です。

1. 利用目的: ①本プログラムに関する各種連絡、資料等の作成・配布、プログラム開催当日や講演者・事務局打ち合わせでの利用。
②日本IE協会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査。
※上記以外の目的で個人情報を利用する場合、ご本人に個別に理由を説明し、同意を得た上で行うものといたします。
2. 個人情報の第三者提供について: 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に提供することはありません。但し、本プログラムを担当する講演者等に、名簿等を確認いただく場合があります。
3. 業務委託について: 本プログラムの運営にあたり、業務の一部を外部に委託する場合があります。委託先に対しては、参加者へのサービスに必要な個人情報だけを委託します。(公財)日本生産性本部の選定基準に基づき委託先を選定し、契約により個人情報の保護を徹底するとともに、委託先に対して適切な管理・監督を行います。
4. 写真等の利用について: 本プログラムでは撮影を行う場合があります。得られた情報や撮影した画像は、日本IE協会の広報宣伝活動に使用場合があります。
5. 皆様の権利: 個人情報について、ご本人による開示請求・訂正・削除・利用停止等を求めることが可能です。その際は、以下までご連絡ください。【連絡先】日本IE協会: 03-3511-4062 (公財)日本生産性本部 個人情報保護管理者 総務部長



日本インダストリアル・エンジニアリング協会

〒102-8643 東京都千代田区平河町 2-13-12
TEL 03-3511-4062 FAX 03-3511-4069
E-mail jjie@j-ie.com https://www.j-ie.com/

担当:
佐藤